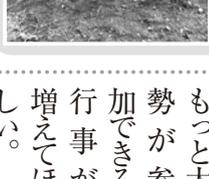


花いっぱい活動

各町会は5月末から6月中旬にかけて市より配分されたマリーゴールド、ブルーサルビアなどの花を町会が管理する花壇やプランターに植えた。



寺家町会



川西町会



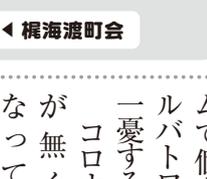
川東町会



南荒井町会



下神町会



梶海渡町会

●川東町会
6月より いきいき100歳
体操を毎週土曜日再開した。

●寺家町会
8月 納涼祭 (計画中)

8月 納涼祭 ↓ 中止決定

●川西町会
7月 農休みマレットゴルフ大会のみ実施 (防災訓練・焼肉交流会 ↓ 中止)

8月 ふれあい健康教室・敬老会等はコロナの状況を見ながら開催判断、内容の検討をする。

各町会行事の現状



令和4年7月1日現在	総世帯数	2,024世帯
	総人口	4,812人
	男	2,371人
	女	2,441人

●南荒井町会
11月 敬老会及び文化祭を開催予定

*11月以降の行事は通常通り開催予定

●町神町会
7月 町内自主防災訓練
児童遊園・山の神・公民館庭・高札場の草取り

8月 夏祭り
*7月以降の行事はコロナの状況を見て判断予定

●下神町会
8月 納涼祭 (計画中)

●梶海渡町会
年内行事は全て中止予定

チャンスは一瞬



去る6月17日、神林公民館にて「長野県風景写真家協会」原和明氏(寺家)を講師に招いて第3回写真勉強会が開催された。

今回のテーマは「光の使い方」と「歴史を感じさせる風景写真に挑戦」。講義では水鳥湿原、花など原氏の作品をスライドで写し、「感動的なデジタルカメラの撮影方法」について学んだ。

男性7名、女性3名の受講者は、原氏の明解な説明やアドバイスを熱心に聴いた。勉強会の後半は受講者の作品発表の場となり、各自の力作をスライドまた現像作品などを全員で鑑賞した。

最後に「良い作品には偶然の写真はありません。狙った写真を撮る努力が重要です」また「チャンスは一瞬なので、日頃より如何に練習をするか作品のレベルが判ります」という原氏の言葉に、受講者はメモを取るペンを走らせた。

マレットゴルフ大会

下神町会は6月19日(日)スカイパーク、マレットゴルフコースで3年ぶりに開催した。夏を思わせる好天に恵まれた午前、30名が参加し、8チームで個人戦でプレーした。アルバトロスも出て、一打に一喜一憂する楽しい大会になった。

コロナが無くもって、勢が参加できる行事が増えてほしい。



男性ばかりの麻雀クラブ



平成18年当時公民館長の上原伯夫さんの提案で麻雀クラブが発足し16年になる。会長は太田幸四郎さん、公民館大会議室で、4卓16人が午後1時から5時をめぐりに楽しんでいる。

今年度4月5月の2か月間の成績で1位は山本健司さん2位中村万作さん、3位上原和三さん、との結果であった。クラブ最高齢者は川東の岩田良作さん88歳で元気そのもの。

神林公民館で活動している27団体がある中で、男性だけのクラブはここだけで、頭の体操になり、自分が引張つて来る配牌に一喜一憂のスリルを味わい感じつつ、振り込まないよう集中して楽しんでる風景は緊張感を漂わす。

麻雀台には余裕があるので若い人の入会を切に望んでいる。パイを並べる日は、毎週月曜、金曜で会費は月2千円。年度末には参加賞などのご褒美がある。

初のリーダー講習会



6月12日(日)に川東公民館にて「わくわくリーダー講習会」を開催した。小学生の子ども会による安全啓発講習会で、神林各地区の子どもの会正副会長が参加し危険予知トレーニング(KYT)を体験した。

危険予知トレーニングとは事故や災害を未然に防ぐ事を目的とし、作業や行動に潜む危険を予想し解決する能力を高める訓練で、やり方は様々あるが今回はイラストを使用しその中に潜む危険を予想する。講師は子ども会KYT指導者の下笹玲奈さん。

参加者は3グループに分かれイラストを指差しながら意見を出し合い危険だと思ふ所に印を付け、その中から「大げがにつながる危険」と「どうすれば危険を防げるか」をまとめ、模造紙に記入し発表した。

様々な意見が出る中で見る人によって一番危ないと思う所が違い、自分達とは違う発表内容に関心をもち、耳を傾けていた。

トレーニングに使用したイラストは子供たちが川遊びをしているもので、これは7月31日に行う「マスコみ大会」に関連した内容。「マスコみ大会」の時も事前に危険を予想して、怪我の無い様にやってもらいたい」と講師の下笹さん。

参加した子ども会会長の宮下翔君(梶海渡)は「今日の事をマスコみ大会でも生かしていきたい」と話す。他の参加者からは「講習会はとてもし良い機会になった」「もっと積極的に発言できれば良かった」等の感想もあった。

危険予知活動は大人の世界でも行われていること。子供の時からこの様な行動を身に付け、子ども会行事だけでなく日々の生活にも役立てて、事故や怪我の無い様に過ごしてもらいたい。

寺家町会(青柳健治会長)は寺家公民館の土地所有権問題で十年越しの懸案だった町会法人化で一昨年より実質的業務処理に入っていた。法的事務を町内の井上治夫行政書士の力を借り、2回の町会臨時総会と町会加入世帯に色々手数を願ひ、土地、公民館の登記を5月13日に済ませこれで全ての手続きを終えた。6月5日の役員会で、市内487町会ある中で285番目、神林で川西、川東町会に継ぎ3番目で「松本市認可地縁団体」となったと報告された。

寺家町会 285番目の法人化完了

キーワードはなに?

本紙神林版の記事内にキーワードの文字が散りばめられています。見つけて言葉にしてください。わかった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。アンケートにお答えいただいた正解者の中から抽選で**5名に500円分の図書カード**をプレゼント!締切は**8月26日(金)**、当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております!

【前回の答え】 **かかくことう** 【今回のキーワード】 **○○○○○**

これによりこれまでの町会規則に準じた常会構成、役員構成などの細則原案を作ることをとした。

今年度第1回総会が5月31日に開かれ、21人が出席した。冒頭に、百瀬茂敏委員長は「色々課題はあるが、皆と相談しながら空港活性化を図っています。空港がある限り、続けていかなければいけない」と。上條温相談役は「市長が変わり、空港関連で交通部が、県は松本空港課が発足し、沖縄線も検討されています。最近鎖川など河川の木々伐採清掃が進んでいますが、これは空港対策費の事業なのです」と話された。

今夏の離発着回数が、8月は1日14回となる事に伴い、長野県が平成23年以来的騒音調査を実施する事が報告され、測定地点について、確認を行い、協議は終了した。

「色々課題はあるが、皆と相談しながら空港活性化を図っています。空港がある限り、続けていかなければいけない」と。上條温相談役は「市長が変わり、空港関連で交通部が、県は松本空港課が発足し、沖縄線も検討されています。最近鎖川など河川の木々伐採清掃が進んでいますが、これは空港対策費の事業なのです」と話された。

河川敷伐採事業は 空港対策費

河川敷伐採事業は、空港対策費から実施する。河川敷の伐採は、河川敷の整備、防災、観光などにも効果的である。河川敷の伐採は、河川敷の整備、防災、観光などにも効果的である。

鎖川

SDGsという言葉、最近よく耳にします。日本語では「持続可能な開発目標」と言い、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、経済、環境、社会の諸課題を包括的に扱い、17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

17の目標は貧困や教育、地球環境やまちづくり、不平等や働きがい等多岐にわたっていますが、目標は相互に関連しています。SDGsのロゴが丸い輪で表されている理由は、ゴールは相互につながり関係を持っていくからです。

節水や節電、資源のリサイクル、マイバックやマイボトルの活用、認証マーク入り商品やフェアトレード商品の購入等、意識して行動する事でSDGsとなります。

地球規模の目標ですが、目標の達成には私達一人一人の行動が必要になります。個人や地域で、自分達にできる身近なところから行動を起こす事が大切です。